

公 示

北朝鮮を原産地又は船積地域とするさけ及びます並びにこれらの調製品を輸入しようとする場合の2号承認申請の前の確認申請について

2貿局第194号(2.6.22)

最終改正:輸入注意事項2019第15号(31.4.19)

平成2年6月25日以降、北朝鮮を原産地又は船積地域とするさけ及びます並びにこれらの調製品を輸入しようとする場合は、平成2年6月22日付け貿局第193号、輸入注意事項2第18号(北朝鮮を原産地又は船積地域とするさけ及びます並びにこれらの調製品の2号承認制移行について)により2号承認申請の前に農林水産省水産庁資源管理部管理調整課で確認を受けることになっていますが、その手続きを下記により行います。

記

1 受付期日

平成2年6月25日以降、毎週月曜日から金曜日までの午前10時から午後4時まで

2 提出先

農林水産省水産庁資源管理部管理調整課

3 提出書類

- (1) 別紙様式による確認申請書 2通
- (2) 当該貨物の原産地又は船積地域を証する書類
・当該貨物の原産地の機関が発行する原産地証明書等原本及び写し 1通
- (3) インボイス 原本及び写し 1通
- (4) はえなわ又は流し網によるときは、当該漁船の全景写真(船名が判読可能なこと)を、その他の漁獲方法によるときは、当該漁法及び漁場についての輸出者の確認書を添付すること。

(注)1 原本は照合の上返却します。

2 (2)の原産地証明書が提出できない場合には、これに準ずる書類又はその他の原産地を証する書類を提出すること。

3 (3)については、未到着の場合には提出する必要はありません。

4 上記の提出書類のほかにも必要に応じて書類の提出を求めることがあります。

[別紙様式]

北朝鮮を原産地又は船積地域とするさけ及びます並びにこれらの調製品
を輸入しようとする場合の2号承認申請前の確認申請書

水産庁長官 殿

申請年月日 年 月 日
申請者名
住 所
電 話 番 号

上記の貨物を下記により輸入したいので確認されたくお願いします。

記

輸 入 状 況	種 類	
	輸入数量(総数)	kg
	種類別輸入数量	
	輸 入 金 額	US \$ 円
	輸入契約の相手国	
	輸入契約の相手方	(1)名称 (2)住所
	輸 入 契 約 条 件	(1)FOB (2)CIF (3)C&F (4)その他
	船 積 予 定 入 着 予 定	(1)年月日 (2)船積港 (1)年月日 (2)入着港
生 産 状 況 等	魚 種 名	
	漁 獲 時 期	
	漁 獲 水 域	
	漁 獲 方 法	
	漁獲時の原産地 (有償・無償の別)	

(注) 裏面記入要領参照のこと

輸入確認書(さけ及びます並びにこれらの調製品)

下記のとおり確認する。

北太平洋における溯河性魚類の系群の保存に関する条約及びその他の国際協定に基づくさけ及びます資源の保存のための措置を損なわない操業により採捕されたさけ及びます並びにこれらの調製品であると認める。

輸入数量 kg (漁種別に記載される)

有効期間 年 月 日

水産庁長官

[裏面]

記入要領

- (1) 「申請者名」欄には、会社名又は個人名を記載するものとし、記名押印又は署名の当事者は、個人の場合は本人、法人の場合は代表者(代表権を委任されたものを含む。)に限ることとする。
- (2) 「種類」の欄には、漁種及び形態を「べにぎけ、ラウンド、冷凍」等、具体的に記載すること。
- (3) 「輸入数量」欄には、重量で表示を行うこと。
- (4) 種類別輸入数量には、漁種別に重量で表示を行うこと。
- (5) 「輸入金額」欄には、円及び米ドルで表示を行う。また、決定通貨が米ドル以外の通貨建ての場合には、かっこ書で併記すること。また、金額に端数が生じた場合は、切り上げて記載すること。
- (6) 「輸入契約の相手国」及び「輸入契約の相手方」欄は各々の地域の表示方法によること。
- (7) 「輸入契約条件」欄には、当該契約の該当する建値に○印を付すこと。「その他」の契約条件を詳細に記載すること。
- (8) 「船積予定年月日」及び「入着予定年月日」欄には、それぞれの予定年月日を記載すること。なお、予定年月日について幅がある場合は、それぞれ期間を記載すること。
- (9) 「船積港」欄には、船積港名を記載すること。なお、船積港が複数の場合には、船積港別に確認書を提出する必要がある。
- (10) 「入着港」欄には、予定の最終陸揚港を記載すること。
- (11) 「魚種名」欄には、輸入予定の貨物(調製品にあつては当該原料)の種名を「ベニザケ、シロザケ、カラフトマス」等、標準和名又は一般的名称にて記載すること。
- (12) 「漁獲時期」欄には、輸入予定の貨物(調製品にあつては当該原料)の魚種別、形態別に漁獲が行われた時期を記載すること。
- (13) 「漁獲水域」欄には、輸入予定の貨物(調製品にあつては当該原料)の魚種別、形態別に漁獲の行われた水域を記載すること。
- (14) 「捕獲方法」欄には、輸入予定の貨物(調製品にあつては当該原料)の魚種別、形態別に漁法(例えば、定期網、はえなわ等)を記載すること。
- (15) 「漁獲時の原産地」欄には、輸入予定の貨物(調製品にあつては当該原料)の原産地を国・地域名(領有地等の領有地名等)により記載すること。
- (16) 「(有償・無償の別)」欄には、輸入予定の貨物(調製品にあつては当該原料)を輸出した際の有償又は無償の別を記載すること。

(注)1 用紙の大きさは日本工業規格A4とすること。

2 欄に記載しきれないときは、別紙として添付すること。